



学校教育目標：「豊かに育つ生徒」

校 訓：「求学・親和・創造」

R7.2.21(金)発行 文責 校長 六山 和弘

長崎県初の「夢授業」を、本校1年生が体験

本校の学校教育目標は『豊かに育つ生徒～「挑戦」と「創造」』です。生徒たちには、さまざまなことに「挑戦」してほしい。(失敗も貴重な体験(経験)と捉える)そして、やがては自ら「創造」する力を身に付けてほしい。そのため、学校は「豊かな学び」や「豊かな経験」を提供して、豊かな人間性を育てていけるよう教育活動に邁進しています。

また、テーマを「キャリア教育とふるさと教育の充実」と掲げ、地域での学びや人との出会いを提供したいと考え、総合的な学習の時間では、大村について学んだり、地域探訪を仕組んだり、大村の偉人の劇に取り組んだりしてきたところでした。

そのような中に、毎朝、校門前の横断歩道で子どもたちの安全を見守ってくださっている山川さんが、他県で実施されている「夢授業」を大村でも開催したいという話を持ってきてくださいました。

私が求めていたものとはほぼ一致していたために、「まず最初は西大村中学校で実施したい」と2つ返事で受け入れることにしました。開催日当日に分かったのは、長崎県初開催の取組だということでした。

以下に、2月14日(金)の午後から開催した「夢授業」を紹介します。

「夢授業」とは、ボランティアで集まったさまざまな職業人の方々が、それぞれブースを設置して、約15分間、仕事やその思いを語る。これを5クール行う。生徒たちは、興味のある職業を5つ選び、それぞれを回りながら話を聞いたり、質問をしたりする。

大分県や福岡県では、小中学校で定番の行事になってきているとのこと。

【今回集まっていたいただいた職業一覧】

バスガイド ・ 大村市議会議員 ・ 心理カウンセラー ・ ドローンパイロット
 小学校教師 ・ ドクターズクラーク(医療事務作業補助) ・ 消防吏員 ・ 美容師
 眼鏡作成技能士、認定補聴器技能士 ・ バルーンアーティスト、バルーンデザイナー
 エステティシャン ・ 経営者(工務店) ・ パーソナルトレーナー ・ 作業療法士
 市公務員(福祉職) ・ 自衛隊長崎地本大村地域事務所 ・ 看護師 ・ 相談員
 産業支援センター ・ 大村市地域おこし協力隊 ・ 証券会社 ・ 郵便局 ・ 保育士
 九十九島シーカヤック&アウトドアガイド ・ 食育と足育の保健室 ・ 理学療法士
 フラワーコーディネーター ・ 県公務員(事務職) ・ 精神保健福祉士 ・ 薬剤師
 県公務員(福祉職) ・ 整体師セラピスト ・ カウンセラー ・ 巫女 ・ オペラ歌手
 ※合計35の職業(本校保護者の方3名が協力してくださいました)
 県外からの参加者もあり。約30名は初参加とのことでした。

私は、午後からの校外での会議のため、開始前の職業人の皆さまへのあいさつをただけでしたが、会場に入っただけで、皆さんのオーラでワクワクドキドキが止まりませんでした。

結果は、1年生職員には大絶賛で、生徒たちも話の世界にのめり込んでいたとのこと。1年生の保護者の皆さまは、お子さまから話を聞かれてみてはいかがでしょうか。せめて写真から雰囲気だけでも味わってみてください。ちなみに、大村ケーブルテレビと長崎新聞の取材が入りましたので、そのうち楽しみにご覧ください。



今回の、このひとしずくの取組が、波紋のように生徒たちの心に広がっていくことや大村市全体に活動が広がっていくことを願っています。

ご協力いただきました、運営スタッフの皆さまと各職業人の皆さまに、心から感謝いたします。

ありがとうございました。

3年生の皆さん、入試への挑戦、誠にお疲れさまでした。

2月18日(火)、19日(水)に実施された、長崎県公立高等学校入学選抜学力検査をもって、令和6年度の入試への挑戦が、ひと通り終了しました。(両日、残った生徒の環境整備にも感謝。)

3年生の皆さん、自らの人生をつくるための「本気の取組」、本当にお疲れさまでした。

後は、結果を待つのみです。全ての生徒の成功と進路実現を、校長室からも本気で祈っています。皆さんの前途は、希望と可能性が無限に広がっています。

どうぞ、夢や志をしっかりとをもって、それぞれの人生を着実に進んでください。

しばらく休憩したら、「感謝の3学期」、「感動の卒業式」へ向けての取組に期待しています。

どうか、残り少なくなった母校での生活を、仲間とともに支え合いながら、称え合いながら、認め合いながら、過ごしてください。

そして、たくさんの思い出をつくってください。3月3日には、お世話になった先生方との小旅行、「長崎市探訪」がやってきます。一人一人が自らを律して、学びの充実を図ってください。よろしくお祈りします。

お疲れ様です

寓話から学ぶ 第2弾 ～ 目標をもつことの大切さ ～

【3人のレンガ職人の話】

世界中をまわっている旅人が、ある町外れの一本道を歩いていると、一人の男が道の脇で難しい顔をしてレンガを積んでいた。旅人はその男のそばに立ち止まって、

「ここでいったい何をしていますのですか？」と尋ねた。

「何って、見ればわかるだろう。レンガ積みには決まっているだろ。朝から晩まで、俺はここでレンガを積まなきゃいけないのさ。あんた達にはわからないだろうけど、暑い日も寒い日も、風の強い日も、一日中レンガ積みさ。腰は痛くなるし、手はこのとおり」

男は自らのひび割れた汚れた両手を差し出して見せた。

「なんで、こんなことばかりしなければならぬのか、まったくついてないね。もっと気楽にやっている奴らがいっぱいいるというのに・・・」

旅人は、その男に慰めの言葉を残して、歩き続けた。

もう少し歩くと、一生懸命レンガを積んでいる別の男に出会った。先ほどの男のように、辛そうには見えなかった。旅人は尋ねた。

「ここでいったい何をしていますのですか？」

「俺はね、ここで大きな壁を作っているんだよ。これが俺の仕事でね。」

「大変ですね」

旅人はいたわりの言葉をかけた。

「なんてことはないよ。この仕事のおかげで俺は家族を養っていけるんだ。ここでは、家族を養っていく仕事を見つけるのが大変なんだ。俺なんて、ここでこうやって仕事があるから家族全員が食べいくことに困らない。大変だなんていっていたら、バチがあたるよ」

旅人は、男に励ましの言葉を残して、歩き続けた。



また、もう少し歩くと、別の男が生き活きと楽しそうにレンガを積んでいるのに出くわした。

「ここでいったい何をしていますのですか？」

旅人は興味深く尋ねた。

「ああ、俺達のことかい？俺たちは、歴史に残る偉大な大聖堂を造っているんだ！」

「大変ですね」

旅人はいたわりの言葉をかけた。

「とんでもない。ここで多くの人が祝福を受け、悲しみを払うんだぜ！素晴らしいだろう！」

旅人は、その男にお礼の言葉を残して、また元気いっばいに歩き続けた。

3人のレンガ職人への「何をしていますか」の問いかけに対する答えから、次のようなことが分かります。

1番目のレンガ職人：「レンガ積みには決まっているだろ」

→ 仕事を目的もなく、嫌々こなしている

2番目のレンガ職人：「この仕事のおかげで俺は家族を養っていける」

→ 仕事を自分に課せられた責務だと考えて、懸命に取り組んでいる

3番目のレンガ職人：「歴史に残る偉大な大聖堂を造っている」

→ 将来の大きな夢に向かって、生き活きと仕事に励んでいる

この中で一番モチベーション高く仕事をしているのは、明らかに3番目の職人ですよ。

目標は、将来にわたってなるべく大きなものだと思います。

学校や会社で学びたいことや、将来やりたいことを明確に持っていることが大切だと考えます。

目標が明確になっていけば、モチベーションも高まり、勉強や仕事自体が楽しくなるでしょう。

楽しみながら勉強や仕事をしていけば、当然、勉強や仕事の成果や結果も変わってくるはずです。

生徒の皆さんの、今後の活躍に期待します。